



2023年3月期 第1四半期決算説明資料

2022年8月4日

目次

1. 決算サマリー	P. 3
2. 外部環境	P. 4
3. 2023年3月期 第1四半期決算	P. 6
4. 参考資料	P. 15

注) 2023年3月期より、各事業が負担すべき費用を負担し、グループ全体の利益への貢献に責任を持って事業運営する体制に移行するため、全社共通費用を全て各事業に配賦する方法に変更しています。
 なお、当資料では、2022年3月期のセグメント別営業利益は、変更後の配賦方法に基づき組み替えた数値を記載しており、前年同期比較につきましても、変更後の配賦方法に基づき組み替えた数値と比較しております。

決算サマリー

◇ 2023年3月期 第1四半期 業績

売上高 1,280億円、営業利益 130億円

<対前年同期>

- 中国でのロックダウンや半導体をはじめとする部品不足による自動車減産などの影響を受け、一部製品の販売数量が減少したものの、原燃料コスト上昇に伴う価格是正に取り組んだことや為替の影響などにより増収
- 営業利益は、為替の影響があったものの、中国でのロックダウンの影響に加え、原燃料・物流コスト上昇などにより減益

<対予想>

- 売上高は、一部製品の拡販や為替の影響があったものの、主に中国でのロックダウンの影響により計画を若干下回った。
- 営業利益は、原燃料・物流コスト上昇の影響を受けたものの、一部製品の拡販や為替が想定よりも円安で推移したことなどにより、計画を上回った

市場動向

セグメント	主要製品	主要市場	2023年3月期第1四半期の状況
メディカル・ヘルスケア	化粧品原料 健康食品原料	コスメ ヘルスケア	コスメの需要は主要市場である中国でのロックダウンの影響により低調に推移 健康食品の国内市場は堅調に推移
	キラルカラム 充填剤	ライフ サイエンス	キラルカラム・充填剤は、中国市場が前半にロックダウンの影響を受けたものの、解除後は需要が急回復。インドなどその他地域の需要も堅調に推移
スマート	TAC (※) 機能フィルム フォトレジスト 材料 電子材料向け 溶剤	電子デバイス 半導体	液晶パネルは、前年度のコロナ禍からの需要回復に伴う増産が一巡し、その調整が入ったため需要は低調に推移 半導体市場は前年度に引き続き旺盛な需要を背景に成長
セイフティ	エアバッグ用 インフレーター	自動車	自動車生産台数は半導体不足や中国でのロックダウンなどの影響を受け、低調に推移

※TAC (Tri-acetyl cellulose) : 光学フィルム用酢酸セルロース

市場動向

セグメント	主要製品	主要市場	2023年3月期第1四半期の状況
マテリアル	アセチル (酢酸、 酢酸誘導体、 アセテート・ トウ)	樹脂・インク 用原料 塗料用溶剤	酢酸の主用途である酢酸ビニル、PTAの需要は堅調に推移。一方で、酢酸市況は供給面の回復もあり、低下傾向で推移 酢酸エチルの需要は、グラビアインキ向けなど各用途で堅調に推移。酢酸市況低下の影響あり
		繊維 フィルター	アセテート・トウの主用途であるフィルターは、アジア地域における需要が堅調に推移
	ケミカル (エポキシ樹脂、 カプロラクトン 誘導体、 その他化学品)	電材・ コーティング 用原料	エポキシ樹脂、カプロラクトン誘導体の主要市場である自動車市場は中国でのロックダウンなどの影響により需要は低調に推移。一方で、同じく主要市場の半導体市場は好調に推移
エンジニアリング プラスチック	POM PBT PPS	自動車部品	自動車減産や中国のロックダウンの影響を受け、自動車部品の需要は低調
		電機・電子 ・精密機器	スマートフォンやパソコンなどの電子デバイス、家電の生産は中国のロックダウンの影響および不安定な社会情勢による買い控えにより低調
	LCP	電子デバイス	スマートフォンの生産台数は中国でのロックダウンおよび不安定な社会情勢による買い控えを背景とする需要の低下を受けて減少

2023年3月期 第1四半期業績

(単位：億円)

	2022/3 1Q実績	2023/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	%
売上高	1,114	1,280	+166	+14.9%
営業利益	139	130	△ 10	△6.8%
経常利益	152	154	+2	+1.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	89	△ 34	△27.5%
為替レート USD/JPY	110	130		
EBITDA	202	196		

- 一部製品が中国でのロックダウンや半導体をはじめとする部品不足による自動車減産などの影響を受けたものの、製品の拡販や原燃料コスト上昇に伴う価格是正、為替の影響などにより、全セグメントで増収
- 営業利益は、メディカル・ヘルスケア、マテリアルは増益となったものの、スマート、セイフティ、エンジニアリングプラスチックは、原燃料・物流コストの上昇や、中国でのロックダウンの影響などにより減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、セイフティの韓国拠点解散に伴う事業整理損の計上、法人税等の増加により、減益

セグメント別 売上高・営業利益（対前年同期）

（単位：億円）

売上高	2022/3 1Q実績	2023/3 1Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	48	54	+6	+13.1%	△ 1	+7	+6
スマート	80	96	+16	+19.7%	+7	+8	+4
セイフティ	163	178	+15	+9.4%	+2	+13	+13
マテリアル	283	347	+64	+22.5%	+5	+59	+40
エンジニアリング プラスチック	515	587	+73	+14.1%	△ 36	+109	+53
その他	26	18	△ 7	△29.3%	△ 7	-	-
合 計	1,114	1,280	+166	+14.9%	△ 30	+196	+114

営業利益	2022/3 1Q実績	2023/3 1Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	価格影響の内 為替影響	その他
メディカル・ヘルスケア	6	7	+1	+17.5%	+1	+2	+2	△ 1
スマート	15	11	△ 4	△24.1%	+1	△ 2	+1	△ 3
セイフティ	△ 0	△ 4	△ 3	-	+5	△ 3	+2	△ 6
マテリアル	44	49	+5	+11.0%	+15	+7	+16	△ 18
エンジニアリング プラスチック	71	66	△ 6	△8.1%	△ 19	+46	+18	△ 33
その他	4	1	△ 3	△72.7%	△ 3	-	-	-
合 計	139	130	△ 10	△6.8%	+1	+50	+40	△ 60

セグメント別 営業利益（対前年同期 増減・要因分析）

		営業利益	営業利益の増減要因
メディカル・ヘルスケア	数量影響	+1	+ キラル関連製品やエクオールの販売数量増加
	価格影響	+2	+ 為替影響
	その他	△ 1	△ 経費増加
スマート	数量影響	+1	+ 機能フィルムなどの販売数量増加
	価格影響	△ 2	△ 原材料価格上昇
	その他	△ 3	△ 経費増加
セイフティ	数量影響	+5	+ 販売数量増加、操業度増加
	価格影響	△ 3	△ 原材料価格上昇
	その他	△ 6	△ 経費増加
マテリアル	数量影響	+15	+ アセテート・トウやラクトン、エポキシの販売数量増加、操業度増加
	価格影響	+7	+ 為替影響
	その他	△ 18	△ 直接販売費などの費用増加
エンジニアリング プラスチック	数量影響	△ 19	△ 中国ロックダウンの影響による販売数量減
	価格影響	+46	+ コスト上昇に伴う価格是正、為替影響
	その他	△ 33	△ 直接販売費などの費用増加、在庫影響

セグメント別情報（2023年3月期 第1四半期（4月～6月）の状況）

＜対前年同期＞

メディカル・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品原料（1,3-BG）は、中国でのロックダウンの影響などにより販売数量が減少し、減収 キラル関連製品は上海でのロックダウンの影響を受けたものの、キラルカラム・充填剤の海外市場向けの販売が好調に推移し、遺伝子解析関連製品の販売も伸長したことなどにより、増収
スマート	<ul style="list-style-type: none"> 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）は、パネルメーカーの稼働調整の影響により販売数量が減少し、減収 機能フィルムはテレビ向け高性能ディスプレイ用途の成長や車載ディスプレイ用途の拡販により、増収 電子材料向け溶剤は、液晶パネル市場での稼働調整の影響を受けたものの、半導体用途での拡販や、原燃料コスト上昇に伴う積極的な価格是正に取り組んだことにより、増収 フォトレジスト材料も液晶パネル材料用途での販売数量が減少したものの、半導体用途での拡販に取り組み、増収
セイフティ	<ul style="list-style-type: none"> インフレータは、自動車生産が中国でのロックダウンなどの影響を受けたものの、新型コロナウイルスの影響からの回復基調にあった前年同期と比較して販売数量は増加したことや為替の影響により、増収
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> 酢酸市況は供給面の回復により低下 アセテート・トウは前年同期の減収要因であった会計基準変更の影響が無くなったことに加え、物流混乱に伴う顧客での在庫確保などにより販売数量が増加したことや為替の影響により、増収 カプロラクトン誘導体はポリウレタン向けの拡販や原燃料コスト上昇に伴う販売価格是正に積極的に取り組んだことなどにより、増収。また、エポキシ化合物は半導体用途やFRP向けの拡販、原燃料コスト上昇に伴う販売価格是正に積極的に取り組んだことにより、増収
エンジニアリングプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアリングプラスチックは、中国でのロックダウンの影響などにより販売数量は減少したものの、原燃料・物流コスト上昇に伴う価格是正に積極的に取り組んだことや為替の影響により、増収

通期予想（※）に対する進捗率

（単位：億円）

全社業績	2023/3 1Q実績	通期予想	進捗率	セグメント別 売上高・営業利益	売上高			営業利益		
			%		2023/3 1Q実績	通期予想	進捗率 %	2023/3 1Q実績	通期予想	進捗率 %
売上高	1,280	5,400	23.7%	メディカル・ヘルスケア	54	240	22.6%	7	25	26.9%
営業利益	130	465	27.9%	スマート	96	390	24.5%	11	41	27.8%
経常利益	154	485	31.8%	セイフティ	178	860	20.7%	△4	52	△6.9%
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	89	370	24.1%	マテリアル	347	1,350	25.7%	49	92	52.9%
為替レート USD/JPY	130	115		エンジニアリング プラスチック	587	2,470	23.8%	66	250	26.3%
EBITDA	196	766	25.6%	その他	18	90	20.1%	1	5	20.4%
				合計	1,280	5,400	23.7%	130	465	27.9%

- マテリアルは、酢酸市況が計画前提を上回る水準で推移したことや一部製品の拡販、積極的な価格是正、為替の影響などにより売上高・営業利益は計画以上の進捗
- 中国でのロックダウンの影響を大きく受けたセイフティの売上高・営業利益は計画以下の進捗となった。同じくロックダウンの影響を大きく受けたエンジニアリングプラスチックは、売上が計画を下回ったものの、積極的な価格是正や為替の影響などにより、営業利益は計画以上の進捗となった
- メディカル・ヘルスケア、スマートの売上高・営業利益はほぼ計画通りの進捗

セグメント別情報（2023年3月期計画の進捗）

メディカル・ヘルスケア

<第1四半期（4月～6月）の状況>

- 化粧品原料（1,3-BG）は、前四半期での前倒し販売や中国でのロックダウンの影響により販売数量が想定を下回り、売上高は計画より減少
- キラル関連製品は上海でのロックダウンの影響を受けたものの、キラルカラム・充填剤の海外市場向けの販売が好調に推移し、遺伝子解析関連製品の販売も伸長したことなどにより、売上は計画を上回った

<今後の取り組み>

- 化粧品原料（1,3-BG）は、新プラント稼働により、大手メーカーへの新規参入を図るとともに、海外市場へのさらなる拡販に取り組む。併せて、商流・物流最適化による直接販売費削減などコストダウン、原燃料コスト上昇に伴う価格是正に取り組む
- キラル関連製品は旺盛な需要を背景に能力拡大を行いながらさらなる拡販に取り組む。また、遺伝子解析関連製品はマーケティング強化、新製品開発に取り組む、事業拡大を目指す

セグメント別情報（2023年3月期計画の進捗）

スマート

<第1四半期（4月～6月）の状況>

- 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）は、パネルメーカーの稼働調整の影響を受けたものの想定範囲内だったため、売上高はほぼ計画並み
- 機能フィルムはテレビ向け高性能ディスプレイ用途や車載ディスプレイ用途が堅調だったことにより、売上高が計画より増加
- 電子材料向け溶剤は、液晶パネル材料用途の販売数量が計画を下回ったものの、原燃料コスト上昇に伴う価格是正に積極的に取り組んだことにより売上高はほぼ計画並み
- フォトレジスト材料も同じく液晶パネル材料用途の販売数量が計画を下回ったものの、品種構成の影響もあり、売上高はほぼ計画並み

<今後の取り組み>

- 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）は、木材パルプ原料という特長を生かし、品質改善によりさらに競争力を強化して確実にシェアを拡大する
- 機能フィルムは、当社が強みを持つテレビ向け高性能ディスプレイ用途、車載ディスプレイ用途の拡販に取り組み、下期には譲受するコーティング事業などとのシナジー創出により当事業をさらに成長させる
- 電子材料向け溶剤は、生産能力増強により半導体用途へのさらなる拡販に取り組むとともに、原燃料コスト上昇に伴う積極的な価格是正に取り組む
- フォトレジスト材料は、半導体用途での拡販に取り組むとともにEUV向け製品開発を進めていく

セイフティ

<第1四半期（4月～6月）の状況>

- インフレーターは中国でのロックダウンの影響などにより販売数量が想定を下回り、売上高は計画より減少

<今後の取り組み>

- 原材料・物流コスト上昇に伴う販売価格是正に取り組むとともに、第2四半期以降の急激な自動車生産台数の伸びに備えて、さらなる生産性改善や固定費削減に取り組む
- 今期末に完了を予定している生産地統廃合を着実に進め、事業構造改革による利益率向上を図る

セグメント別情報（2023年3月期計画の進捗）

マテリアル

<第1四半期（4月～6月）の状況>

- 酢酸市況は想定を上回る水準で推移
- アセテート・トウはアジア地域での需要が堅調に推移したことや為替の影響により売上高が計画より増加
- カプロラクトン誘導体はポリウレタン向けが堅調だったことや原燃料コスト上昇に伴う販売価格是正に積極的に取り込んだことにより、売上高は計画より増加。また、エポキシ化合物は拡販や原燃料コスト上昇に伴う販売価格是正に積極的に取り込んだことにより、売上高は計画より増加

<今後の取り組み>

- 酢酸は市況が昨年度と比較して下落しているものの、原燃料コスト上昇と円安を理由に現行価格の維持に努める
- その他製品についても、原燃料、物流コスト上昇分の販売価格への転嫁を進める
- 加熱式たばこ市場の成長に伴いアセテート・トウの需要が増加。生産効率のさらなる向上、既存製造設備のフル活用により供給能力を拡大し、増加する需要に積極的に対応する

エンジニアリング プラスチック

<第1四半期（4月～6月）の状況>

- エンジニアリングプラスチックは中国でのロックダウンの影響などにより販売数量が想定を下回り、売上高は計画を下回った

<今後の取り組み>

- 販売の巻き返しにより、通期では期初予想並みの販売数量を見込む
- 原燃料コスト上昇に伴い、計画以上の値上げを実施。今後の原燃料価格の状況に応じ再度の値上げも検討
- 在庫最適化により航空運賃を抑制している。7月以降の海上運賃の値上がりもあり直接販売費は増加傾向だが、引き続きPSI（生産・販売・在庫）管理の徹底や販売価格への転嫁により抑制を図る
- ダイセル式生産革新導入による設備の効率化と安定化を着実に進め供給を確保するとともに、生産コスト改善を図る

連結貸借対照表

(単位：億円)

		2022年 3月末	2022年 6月末	増減
流動資産		3,602	3,960	+357
	現預金及び有価証券	905	1,016	+111
	受取手形及び売掛金	1,026	1,051	+25
	棚卸資産	1,420	1,609	+189
	その他	252	284	+32
固定資産		3,386	3,446	+60
	有形固定資産	2,298	2,351	+53
	無形固定資産	101	106	+5
	投資その他資産	987	990	+3
資産合計		6,988	7,406	+418
負債		4,193	4,419	+226
	有利子負債	2,836	3,032	+196
	その他	1,357	1,387	+30
純資産		2,795	2,987	+191
負債純資産 合計		6,988	7,406	+418

- 総資産増加額418億円のうち、約270億円が為替影響
- 棚卸資産は主に以下の要因により増加
 - 為替、原燃料価格上昇の影響による増加
 - 中国でのロックダウンによる物流不全の影響で一時的に製品在庫が増加
 - 設備投資計画に伴う在庫積み増しを実施
- 運転資金増加および7月の資金需要に対応するため、短期借入を実施

参考資料

主要ESGインデックスへの組み入れ（2022年8月現在）

- FTSE4Good Index Series (※)
- FTSE Blossom Japan Index (※)
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株 女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

(※) 2022年度に新たに選定されました。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



社外からの評価（2022年8月現在）

- EcoVadis社のサステナビリティ調査で「シルバー」評価
- 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」（三つ星認定）
- 健康経営優良法人2022～ホワイト500～



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

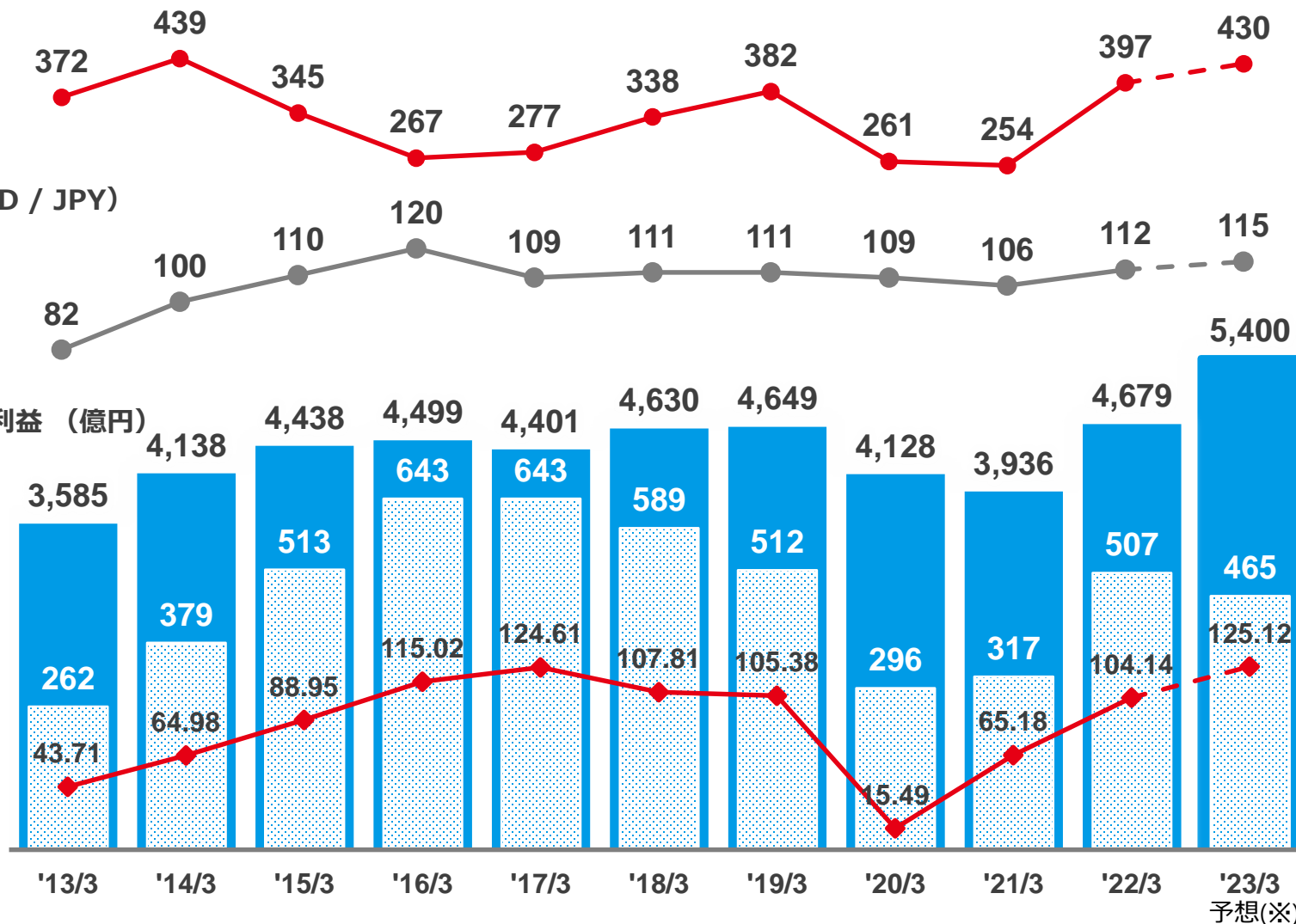
売上高・営業利益・EPSの推移

● メタノールアジアスポット価格 (USD / ton)

● 為替レート (USD / JPY)

■ 売上高・□ 営業利益 (億円)

◆ EPS (円)



セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）

（単位：億円）

売上高	2022/3				2023/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
メディカル・ヘルスケア	48	48	50	49	54
スマート	80	75	86	85	96
セイフティ	163	156	185	191	178
マテリアル	283	298	312	336	347
エンジニアリングプラスチック	515	529	524	555	587
その他事業	26	28	26	34	18
合 計	1,114	1,135	1,182	1,250	1,280

営業利益	2022/3				2023/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
メディカル・ヘルスケア	6	8	5	6	7
スマート	15	11	11	4	11
セイフティ	△ 0	11	13	2	△ 4
マテリアル	44	42	53	44	49
エンジニアリングプラスチック	71	60	36	54	66
その他事業	4	1	3	5	1
合 計	139	133	120	114	130

2023年3月期通期業績予想

(単位：億円)

		2022/3実績			2023/3 予想 (※)			増減
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
	メディカル・ヘルスケア	96	99	195	115	125	240	+45
	スマート	154	170	325	190	200	390	+65
	セイフティ	319	376	695	420	440	860	+165
	マテリアル	580	648	1,228	665	685	1,350	+122
	エンジニアリングプラスチック	1,044	1,079	2,123	1,230	1,240	2,470	+347
	その他事業	54	60	114	40	50	90	△ 24
売上高		2,248	2,431	4,679	2,660	2,740	5,400	+721
	メディカル・ヘルスケア	14	10	24	15	10	25	+1
	スマート	26	15	40	18	23	41	+1
	セイフティ	11	15	26	23	29	52	+26
	マテリアル	86	97	183	58	34	92	△ 91
	エンジニアリングプラスチック	132	90	221	113	137	250	+29
	その他事業	5	7	12	3	2	5	△ 7
営業利益		273	234	507	230	235	465	△ 42
経常利益		298	275	573	240	245	485	△ 88
親会社株主に帰属する当期純利益		220	92	313	185	185	370	+57
(参考) 為替レート USD/JPY		110	115	112	115	115	115	

※ 今回は、2022年5月11日に発表した業績予想から見直しておりません。

為替レート・主要原燃料価格

		2022/3実績		2023/3計画		2023/3実績
		上期	下期	上期	下期	1Q
為替レート (USD/JPY)		110	115	115	115	130
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	368	427	430	430	402
	原油 ドバイ (USD/bbl)	70	87	100	100	108
	国産ナフサ (円/kl)	50,500	62,650	78,000	78,000	86,000

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

愛せる未来、
創造中。

● ● ●
DAICEL